

政策分析シート（平成30年度）

政策名

地球環境を守るまちの実現

政策No

07

部名

古瀬

内線

480

環境清掃部

関連部名

総務企画部

行政評価事業体系

分野

IV

環境先進都市

目的

○荒川区を、そして、かけがえない地球を、よりよいものとして将来の世代へ引き継ぐため、「環境先進都市あらかわ」の実現を「環境区民」の共通の目標として掲げ、協働して環境の保全に取り組む。このため、環境への負荷が少ない省エネルギー、省資源型の生活や事業活動による低炭素地域づくり及び、限りある資源を循環して利用する循環型社会づくりを推進する。

指標

幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
	27年度	28年度	29年度	
① 持続可能性	3.42	3.47	3.43	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？
② 周辺環境の快適さ	3.05	3.03	3.02	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				

政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
	27年度	28年度	29年度	30年度見込み		
① 区役所温室効果ガス排出量(百トン/年-CO2)	145	155	151	121	94	「荒川区役所環境配慮率先行動プラン」に基づく
② エコ助成利用件数	85	40	138	140	150	エコ助成利用件数
③ 公害発生に関する苦情件数	222	163	185	180	70	住民等から寄せられた苦情
④ 資源回収量（ｔ）	10,717	10,376	10,354	14,856	15,810	目標値は一般廃棄物処理基本計画中間見直しの平成33年度目標値
⑤ リサイクルセンター工房・教室回数	—	58	145	103	156	平成28年度は開設後の平成28年度11月～3月の5か月
⑥ 食品ロスの削減 もったいない協力店数(店)	—	63	120	150	200	店舗数
⑦						

行政コスト計算書

勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
給与関係費	794,503	799,491	4,988	地方税等	0	0	0
物件費	1,110,862	1,222,429	111,567	国庫支出金	1	9,733	9,732
維持補修費	12,121	2,813	▲ 9,308	都支出金	308	8,305	7,997
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等	1,066,503	1,068,127	1,624	使用料及び手数料	169,576	180,722	11,146
減価償却費	27,396	64,070	36,674	其他行政収入	20,790	37,566	16,776
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	190,675	236,326	45,651
賞与・退職給与引当金繰入額	38,934	129,521	90,587	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,859,644	▲ 3,050,125	▲ 190,481
其他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	▲ 390	▲ 390
行政費用合計(b)	3,050,319	3,286,451	236,132	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,859,644	▲ 3,050,515	▲ 190,871
特別費用(g)	0	325,335	325,335	特別収入(f)	0	49	49
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	▲ 325,286	▲ 325,286	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,859,644	▲ 3,375,801	▲ 516,157

勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
流動資産				流動負債	36,380	37,943	1,563
収入未済	42	32	▲ 10	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	36,380	37,943	1,563
有形固定資産	3,567,092	3,200,155	▲ 366,937	その他の流動負債	0	0	0
土地	2,088,316	2,088,316	0	固定負債	920,923	1,169,439	248,516
建物	1,803,682	1,825,692	22,010	特別区債	262,000	436,000	174,000
建物減価償却累計額	▲ 394,716	▲ 781,162	▲ 386,446	退職給与引当金	658,923	733,439	74,516
工作物等	157,548	157,548	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	▲ 87,737	▲ 90,238	▲ 2,501	負債の部合計	957,303	1,207,382	250,079
無形固定資産	0	0	0	正味財産	2,611,115	2,003,380	▲ 607,735
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	2,611,115	2,003,380	▲ 607,735
その他の固定資産	1,284	10,575	9,291	負債及び正味財産の部合計	3,568,418	3,210,762	▲ 357,656
資産の部合計	3,568,418	3,210,762	▲ 357,656				

財務諸表に関する特徴的事項等

○地球温暖化対策や資源回収事業を行っており、そのうち3割半ばをごみの収集運搬等に係る物件費が、3割台前半を清掃一部事務組合に拠出する分担金にあたる補助費が占めている。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○東日本大震災以降、再生可能エネルギーへの転換や、エネルギーの多様化が求められている。 ○生活環境の改善要望が複雑、多様化してきている。従来の法規制のみで対応できない案件や、個々の案件が長期化する傾向にある。
課題	○環境への取組については、区民参加が不可欠である。低炭素地域づくり協議会や区民団体が形成されつつあるが、具体的な事業化や環境事業参加者が固定化しているなどの課題がある。 ○省エネルギー化の推進や地球温暖化対策の実施に向けては、主に若い世代や親子を対象とした普及啓発活動や、事業者に対するアプローチをさらに充実させていく必要がある。 ○資源回収品目の拡大について検討を進めるとともに、荒川区におけるごみの排出状況や資源の分別について区民や事業者に周知し、資源化とごみの減量をより一層推進する必要がある。
今後の方向性	○地域のコミュニティを生かした、様々な地球温暖化・ヒートアイランド対策を荒川区から発信し、地球環境対策をリードする。 ○区民の環境に対する意識を高めるとともに、次代を担う子どもたちへの環境教育を推進する。 ○屋上や壁面など、住まいや暮らしの中で工夫を凝らし、地域に花や緑を増やす取組を推進する。 ○再生可能なエネルギーや資源の活用など新たな環境保全の取組を支援する。 ○区民、事業者及び行政が一体となって、資源循環型の社会づくりを進め、限りある資源の有効活用を図っていく。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
温暖化対策の推進	重点的に推進	重点的に推進	区は最も身近な基幹自治体として、区民・事業者とともに環境負荷軽減の取組を進め、地域環境と地球環境を守り育む責務がある。「環境先進都市」を目指す荒川区として本施策の重要性は高い。
資源循環型社会の形成	重点的に推進	重点的に推進	区民、事業者と行政が一体となり、3Rの視点に立った、循環型社会の実現を目指す施策を推進する。
ごみの適正処理の推進	推進	推進	区民の生活環境の保全や、快適な生活の提供のため、更なる廃棄物の適正かつ確実な処理に努める。